

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券
信託期間	2019年6月28日まで（2015年12月29日設定）
運用方針	<p>主として日本を含む世界の金融機関が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券等）等に投資を行います。</p> <p>ハイブリッド証券等への投資にあたっては、G-SIFIs(Global Systemically Important Financial Institutions)に指定された銀行および保険会社が発行する銘柄を中心に投資します。</p> <p>※G-SIFIsとは各国の金融監督当局等で構成される金融安定理事会（FSB）がグローバルな金融システムの維持・安定に欠かせない重要な金融機関として指定した金融機関です。G-SIFIsに指定されると、一般の金融機関よりも厳しい財務健全性が要求されることとなります。</p> <p>※ハイブリッド証券とは債券と株式の両方の特性を有しており、上場または非上場となっています。ハイブリッド証券は一般に利息（配当）が定められており、満期時や繰上償還時に額面で償還される等、債券に似た性質を有しています。同一発行体が発行している普通社債とハイブリッド証券を比べると、ハイブリッド証券の方が普通社債よりも利回りが高く、また期待リターンも高くなります。その一方で、リスクは普通社債に比べてハイブリッド証券の方が高くなり、また弁済順位は普通社債に比べて低いという特徴もあります。また一部のハイブリッド証券については償還時に株式に転換されるものもあります。</p> <p>主として信託期間内に償還またはコール可能日を迎える銘柄に投資を行います。ただし、信託期間内に組入債券が償還した場合等、ハイブリッド証券のほか、普通社債や国債等に再投資することがあります。そのため、ハイブリッド証券の組入比率が低下することがあります。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p>
主要運用対象	日本を含む世界の金融機関が発行するハイブリッド証券等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	元本超過額または経費等控除後の配当等収益のいずれか多い額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

グローバル金融機関 ハイブリッド証券ファンド （為替ヘッジあり）2015-12

第2期（決算日：2018年6月28日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「グローバル金融機関ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2015-12」は、去る6月28日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額			受 益 者 回 利	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	元 残 存 本 率
		税 込 分 配 金	期 騰 落 額	期 騰 落 中 率				
(設定日)	円	円	円	%	%	%	%	
2015年12月29日	10,000	－	－	－	－	－	100.0	
1期(2017年6月28日)	10,246	0	246	2.5	1.6	96.0	44.6	
2期(2018年6月28日)	10,130	0	△116	△1.1	0.5	97.7	32.4	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	債 券 率
2017年6月28日	10,246	－	96.0	－	－
6月末	10,260	0.1	96.5	－	－
7月末	10,283	0.4	95.5	－	－
8月末	10,277	0.3	96.1	－	－
9月末	10,281	0.3	95.9	－	－
10月末	10,288	0.4	91.0	－	－
11月末	10,280	0.3	96.9	－	－
12月末	10,283	0.4	97.2	－	－
2018年1月末	10,260	0.1	96.1	－	－
2月末	10,235	△0.1	96.4	－	－
3月末	10,199	△0.5	96.8	－	－
4月末	10,215	△0.3	95.9	－	－
5月末	10,167	△0.8	99.4	－	－
(期 末)					
2018年6月28日	10,130	△1.1	97.7	－	－

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

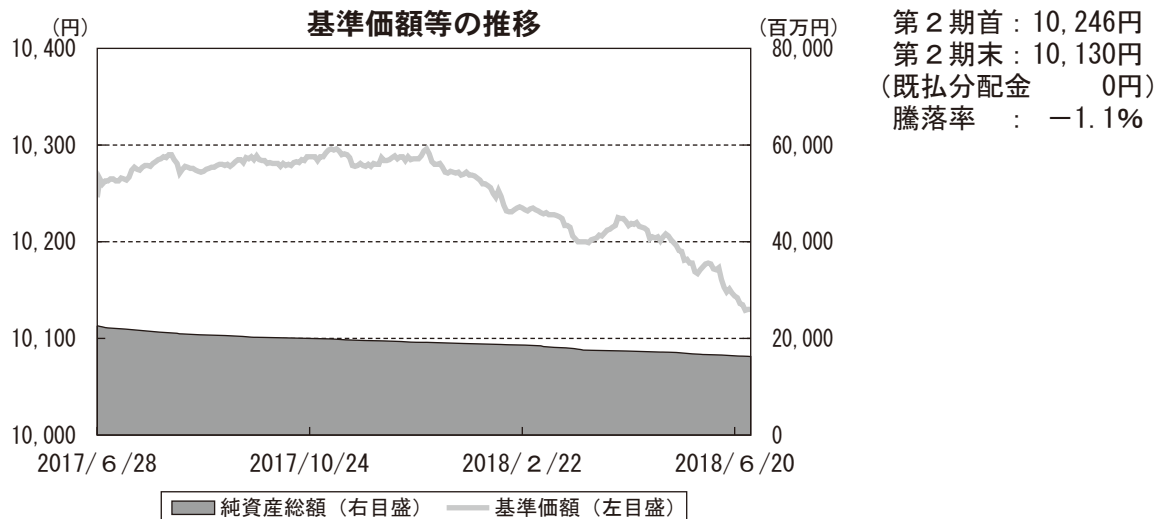
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第2期：2017/6/29～2018/6/28）

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.1%の下落となりました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

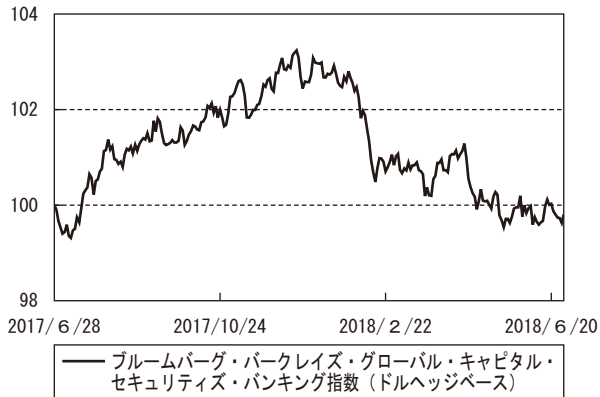


実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	保有銘柄の利息収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	米国金利の上昇やグローバル金融機関ハイブリッド証券（劣後債および優先証券等）市場のスプレッドが拡大したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

債券市況の推移
(期首を100として指数化)

(注) ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティズ・バンキング指数とは、ブルームバーグ社が算出するグローバルベースのハイブリッド証券のうち、銀行セクターが発行する証券の値動きを示す代表的な指数です。

ブルームバーグ（BLOOMBERG）は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー（Bloomberg Finance L.P.）の商標およびサービスマークです。バークレイズ（BARCLAYS）は、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシー（Barclays Bank Plc）の商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックス（BLOOMBERG BARCLAYS INDICES）に対する一切の独占的権利を有しています。

（第2期：2017/6/29～2018/6/28）

◎債券市況

- ・ 期初は、ベース金利上昇に伴う投資妙味などを背景に投資家需要は良好となり、スプレッドは堅調に推移しました。その後、北朝鮮を始めとする地政学リスクの高まりや、カタルーニャ自治州によるスペインからの独立問題などを嫌気し、一時的にスプレッドが拡大する局面があったものの、米税制改革に対する期待感を背景に投資家の需要が継続し、2017年末にかけてスプレッドは堅調となりました。
- ・ 2018年に入ると、世界的な景気見通しが改善へ向かう中、投資家のリスク選好度の高まりや金融機関の良好なファンダメンタルを受け、スプレッドは緩やかな縮小基調となりました。しかし、2月に入ると、米国金利の上昇や株式市場での大幅な調整により投資家心理が急速に悪化したことから、幅広い銘柄でスプレッドが拡大しました。その後、5月に入り、イタリアでポピュリスト・欧州連合（EU）懐疑派による連立政権発足見込みが高まったことに端を発するイタリア政局に対する不透明感から投資家のリスク回避姿勢が強まり、欧州銘柄を中心にスプレッドが大きくワイドニングし、期末にかけてスプレッドの拡大が継続しました。
- ・ 2018年2月、英大手保険会社のプルデンシャルが永久劣後債のコールを見送ったものの、コールスキップ後のクーポン水準が変わらない点などから、スキップ直後の市場全体への影響は限定的となりました。しかし、期末にかけてスプレッドが全体的に拡大基調となった影響等を受け、期を通じてみると当該銘柄は下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

- ・当ファンドは、日本を含む世界の金融機関が発行するハイブリッド証券等を主要投資対象とします。
- ・取得時において当ファンドの信託期間内に償還または繰上償還[※]の可能日が到来するハイブリッド証券等に投資しました。
※繰上償還とは、早期償還や買入消却等による償還をいいます。劣後債と優先証券に繰上償還条項が付与されている場合、繰上償還時には額面で償還されます。
- ・種別組入比率は、「ハイブリッド証券」と「その他債券」比率が同程度となりました。
- ・銘柄選定においては、過去のコール（繰上償還）実績、コールに対する経営スタンス、経済合理性などを総合的に勘案し、組み入れの可否および組入比率を検討・調整しました。
- ・ユーロ、英ポンド、米ドルの外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。
- ・前記の運用を行った結果、保有銘柄の利息収入を得られたことなどがプラスに寄与したものの、米国金利の上昇やグローバル金融機関ハイブリッド証券市場のスプレッドが拡大したことなどがマイナスに影響し、基準価額は下落しました。
- ・初回コールを見送った保有銘柄の「PRUDENTIAL PLC 5.25%（プルデンシャル）」においても期末にかけて欧米金融機関の劣後債・優先証券市場のスプレッド拡大の影響を受け、期を通じてみると下落しました。

（ご参考）

債券の格付分布

期首（2017年6月28日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	49.8%	16
BBB格	39.1%	13
BB格以下	7.1%	2
無格付	0.0%	0

期末（2018年6月28日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	22.9%	7
A格	57.9%	19
BBB格	16.9%	5
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AAA格（AAA、Aaa）
 - ・AA格（AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3）
 - ・A格（A+、A、A-、A1、A2、A3）
 - ・BBB格（BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3）
 - ・BB格（BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3）
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS & P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社のうち最も高い格付を表示しています。

種別構成、利回り・平均残存期間については、2017年および2018年5月末のデータを記載しています。

（ご参考）

種別構成

2017年5月末

	比率
優先証券	37.37%
期限付劣後債	44.65%
永久劣後債	17.98%
その他	0.00%

2018年5月末

	比率
優先証券	15.78%
期限付劣後債	19.13%
永久劣後債	19.35%
その他	45.74%

- ・比率は現物債券等評価額に対する割合です。
- ・種別構成は、Bloombergのデータをもとに、三菱UFJ国際投信が独自に分類したものです。
- ・その他は、普通社債や国債等の債券です。

（ご参考）

利回り・平均残存期間

2017年5月末

最終利回り	1.40%
直接利回り	6.05%
平均残存年数	1.07年

2018年5月末

最終利回り	2.76%
直接利回り	5.62%
平均残存年数	0.68年

- ・数値は、債券現物部分について計算しています。
- ・最終利回りとは、個別債券ごとの複利利回りを加重平均したものです。
- ・最終利回り、平均残存年数は個別債券ごとに、繰上償還条項が付与されている銘柄は原則として直近の繰上償還可能日、または償還日を使用して計算していますが、一部の銘柄については三菱UFJ国際投信が想定する繰上償還日を使用して計算している場合があります。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価に基づくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配金】

決算期	1万口当たり分配金（税込み）
第2期	0円

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

◎運用環境の見通し

- ・G-SIFIs[※]をはじめとする欧米の大手金融機関の自己資本比率は改善傾向にあり、手元流動性の厚みが増すなど安定性が高まっていることなどから、良好なファンダメンタルズは今後も維持され、劣後債・優先証券の利回り低下に寄与すると見込んでいます。また、投資家のセンチメント悪化や市場流動性の観点から短期的に値動きが不安定となる局面も想定されますが、バーゼルⅡの下で発行されてきた劣後債および優先証券については、新規の起債供給のない閉ざされた市場で、繰上償還等により市場規模は縮小の方向にあることに変わりなく、スプレッドは安定的に推移するとみています。

※Global Systemically Important Financial Institutionsの略で、各国の金融監督当局等で構成され国際金融に関する措置・規制・監督等の役割を担う金融安定理事会（FSB）によって選定されるグローバルな金融システムの維持・安定に欠かせない重要な金融機関のことをいいます。

◎今後の運用方針

- ・日本を含む世界各国の金融機関が発行するハイブリッド証券等への投資を行いつつ、再投資としてシニア債への投資も行います。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る方針です。引き続き、取得時において当ファンドの信託期間内に償還または繰上償還可能日が到来する証券に投資し、基本的にバイ・アンド・ホールドを意識した長期保有を前提としつつも、繰上償還の蓋然性に影響を与える規制や市場動向、発行体のクレジットファンダメンタルズや繰上償還スタンス等を注視しながら、ファンドの信託期間終了まで安定的な収益確保をめざしていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年6月29日～2018年6月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	91	0.887	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(47)	(0.457)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(41)	(0.398)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.032)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.024	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.021)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	94	0.911	
期中の平均基準価額は、10,252円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年6月29日～2018年6月28日)

公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 80,868	千アメリカドル 22,280 (11,874)
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	フランス	社債券	—	15,867 (7,200)
	イギリス	社債券	1,095	— (1,000)
	スイス	社債券	—	8,400
	イギリス	社債券	千イギリスポンド —	千イギリスポンド 26,511 (14,382)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年6月29日～2018年6月28日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	201,301	51,603	25.6	194,361	52,537	27.0
為替直物取引	6,005	292	4.9	12,992	1,444	11.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2018年6月28日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 113,454	千アメリカドル 112,949	千円 12,430,072	% 76.5	% —	% 23.7	% —	% 52.8
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
フランス	5,000	5,009	637,306	3.9	—	3.9	—	—
イギリス	5,000	5,280	671,860	4.1	—	—	—	4.1
イギリス	千イギリスポンド 13,900	千イギリスポンド 14,816	2,138,271	13.2	—	8.9	—	4.2
合 計	—	—	15,877,511	97.7	—	36.5	—	61.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄		利 率	額面金額	期 末		償還年月日	
					評 価 額			
					外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
	社債券	1.625 ROYAL BANK 190415	1.625	6,200	6,148	676,647	2019/4/15	
		1.75 WELLS FARGO 190524	1.75	6,200	6,148	676,604	2019/5/24	
		2 GOLDMAN SA 190425	2.0	1,074	1,067	117,435	2019/4/25	
		2.05 CITIGROUP 190607	2.05	6,775	6,726	740,275	2019/6/7	
		2.125 WELLS FARGO 190422	2.125	850	845	93,010	2019/4/22	
		2.15 ROYAL BK CAN 190315	2.15	1,000	996	109,618	2019/3/15	
		2.2 BANK OF NE 190515	2.2	6,200	6,171	679,204	2019/5/15	
		2.3 CREDIT SUIS 190528	2.3	6,000	5,969	656,906	2019/5/28	
		2.375 NORDEA BANK 190404	2.375	3,000	2,990	329,140	2019/4/4	
		2.45 MIZUHO BANK 190416	2.45	6,400	6,376	701,756	2019/4/16	
		2.5 CREDIT AGR 190415	2.5	1,250	1,246	137,156	2019/4/15	
		2.65 BANK OF AMER 190401	2.65	3,000	2,998	329,982	2019/4/1	
		5.25 PRUDENTIAL P 490329	5.25	6,670	6,125	674,118	2049/3/29	
		5.45 BANK OF NE 190515	5.45	5,100	5,220	574,531	2019/5/15	
		5.49 BANK OF AM 190315	5.49	1,300	1,323	145,631	2019/3/15	
		5.5 ALLIANZ SE 491128	5.5	5,800	5,479	603,025	2049/11/28	
		5.5 AXA SA 490729	5.5	7,000	6,545	720,284	2049/7/29	
		6.3 JPMORGAN CHA 190423	6.3	6,000	6,171	679,176	2019/4/23	
		6.75 BARCLAYS BK 190522	6.75	2,000	2,065	227,340	2019/5/22	
		7.3 MORGAN STA 190513	7.3	6,000	6,225	685,085	2019/5/13	
		7.5 GOLDMAN SACHS 190215	7.5	3,255	3,349	368,601	2019/2/15	
		7.625 BANK OF AME 190601	7.625	5,700	5,944	654,195	2019/6/1	
		STEP SUMITOMO M 490729	9.5	6,080	6,115	673,019	2049/7/29	
		VAR FRIENDS LIFE 491108	7.875	6,600	6,684	735,662	2049/11/8	
		VAR ING BANK NV 231121	4.125	4,000	4,013	441,658	2023/11/21	
	小	計				12,430,072		
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ			
	フランス	社債券	STEP BNP PARIBAS 490629	7.781	5,000	5,009	637,306	2049/6/29
	イギリス	社債券	6 HSBC BANK 190610	6.0	5,000	5,280	671,860	2019/6/10
	小	計				1,309,166		
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド			
	社債券	5.125 CITIGROUP 181212	5.125	4,700	4,783	690,338	2018/12/12	
		STEP BARCLAYS B 491129	14.0	3,800	4,214	608,188	2049/11/29	
		STEP BARCLAYS B 491229	8.25	1,000	1,032	149,043	2049/12/29	
		STEP PRUDENTIAL P 390529	11.375	4,400	4,785	690,701	2039/5/29	
	小	計				2,138,271		
	合	計				15,877,511		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 上記のうち、償還年月日が2049年とあるのは、永久債（繰上償還条項付き）です。

○投資信託財産の構成

(2018年6月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	15,877,511 千円	96.7 %
コール・ローン等、その他	538,003	3.3
投資信託財産総額	16,415,514	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（16,095,754千円）の投資信託財産総額（16,415,514千円）に対する比率は98.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.05円	1 ユーロ=127.23円	1 イギリスポンド=144.32円
------------------	---------------	-------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年6月28日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	32,115,191,859 円
コール・ローン等	289,808,556
公社債(評価額)	15,877,511,050
未収入金	15,747,441,828
未収利息	193,756,976
前払費用	6,673,449
(B) 負債	15,862,819,530
未払金	15,712,592,900
未払解約金	76,157,695
未払信託報酬	73,722,352
未払利息	584
その他未払費用	345,999
(C) 純資産総額(A-B)	16,252,372,329
元本	16,044,540,545
次期繰越損益金	207,831,784
(D) 受益権総口数	16,044,540,545口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,130円

<注記事項>

- ①設定年月日 2015年12月29日
 設定元本額 49,500,208,967円
 期首元本額 22,085,628,141円
 元本残存率 32.4%

また、1口当たり純資産額は、期末1,0130円です。

- ②計算期間末における当ファンドの配当等収益額（1,183,345,598円）から経費（176,415,856円）を控除した額（1,006,929,742円）に、期末の受益権口数（16,044,540,545口）を乗じて期中の平均受益権口数（18,876,209,164口）で除することにより分配可能額は855,877,625円（1万口当たり533円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○損益の状況 (2017年6月29日～2018年6月28日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,183,345,598 円
受取利息	1,144,375,042
その他収益金	39,103,834
支払利息	△ 133,278
(B) 有価証券売買損益	△1,153,224,034
売買益	2,461,402,245
売買損	△3,614,626,279
(C) 有価証券評価差損益	△ 70,219,742
(D) 信託報酬等	△ 176,415,856
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 216,514,034
(F) 前期繰越損益金	543,574,731
(G) 解約差損益金	△ 119,228,913
(H) 計(E+F+G)	207,831,784
(I) 収益分配金	0
次期繰越損益金(H+I)	207,831,784

(注) (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)
(2018年1月1日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。